

Tリーグ新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン 訂正・変更箇所のみ抜粋

【旧】	【新】
<p>ガイドライン全体</p> <p>手指の定期的かつこまめな消毒</p> <p>身体的距離（出来るだけ2m、最低1m）の確保</p> <p>飲食の制限</p>	<p>ガイドライン全体</p> <p>手指の定期的な消毒</p> <p>人と人が触れ合わない距離の確保</p> <p>飲食時の感染対策の徹底</p> <p>事業所内およびチーム内での濃厚接触者の特定・行動制限は不要の旨の記載の追加。</p> <p>接触確認アプリ（COCOA）に関する記載の削除</p> <p>図表のアップデート</p>
<p>1.1 新型コロナウイルス感染症防止の基本事項</p> <p>(1) 新型コロナウイルス感染症の感染経路について</p> <p>新型コロナウイルスは、一般的には飛沫感染、接触感染で感染します。</p> <p>(2) 一般的な予防方法と「新しい生活様式」</p>	<p>1.1 新型コロナウイルス感染症防止の基本事項</p> <p>(1) 新型コロナウイルス感染症の感染経路について</p> <p>新型コロナウイルスは、一般的には飛沫感染、<u>エアロゾル感染（マイクロ飛沫感染）</u>、接触感染で感染します。（追加）</p> <p>(2) 一般的な予防方法と「新しい生活様式」及びイベント開催における留意事項</p>

Tリーグ新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン 訂正・変更箇所のみ抜粋

長期間にわたって感染拡大を防ぐための生活様式として、政府専門家会議は5月4日に「新しい生活様式」と呼ばれる実践例を提示しました。

ア. 一人ひとりの基本的感染対策（3つの基本）

- ① 身体的距離（出来るだけ2m、最低1m）の確保

1.2 選手およびチーム関係者に求められる感染予防（検温・体調報告・行動記録）

チームにおきましては、新型コロナウイルス感染症対策に関する担当者を配置いただき、チーム内での取り組みの管理をお願いします。チーム担当者による選手・チームスタッフの「データの管理・モニタリング」を必ず行ってください。

発熱症状があった場合【リーグ統一】

Tリーグでは、厚生労働省の示す「新しい生活様式」及び内閣官房コロナ室による「基本的対処方針に基づくイベントの開催制限施設の使用制限等に係る留意事項等について」（2022年11月25日）等の事務連絡その他行政の示す指針のうち、Tリーグの運営に関連するものに基づいて、運営を実施して参ります。（修正）

ア. 一人ひとりの基本的感染対策（3つの基本）

- ① 人と人が触れ合わない間隔の確保。ただし、声出し応援エリアを設ける場合、声出し応援エリア内においては、最低1mの身体的距離の確保（修正）

1.2 選手およびチーム関係者に求められる感染予防（検温・体調報告・行動記録）

チームにおきましては、新型コロナウイルス感染症対策に関する担当者を配置いただき、チーム内での取り組みの管理をお願いします。チーム担当者による選手・チームスタッフの「データの管理・モニタリング」を必ず行ってください。

なお、陽性者が発生した場合であっても、濃厚接触者の特定は必要ありません。（追加）

発熱症状があった場合【リーグ統一】

- ・37.5℃以上の発熱が2日間続いた場合は自宅待機とし、PCR検査

Tリーグ新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン 訂正・変更箇所のみ抜粋

・37.5℃以上の発熱が2日間続いた場合は自宅待機とし、PCR検査又は抗原定性検査を実施し陽性反応となった場合、直ちに医療機関に受診し、Tリーグへ報告を行う事

(平熱には個人差があるため平熱が36℃より低い人は、平熱プラス1.5度を基準とする)

・寮生活の場合、寮内で隔離することとし、選手はチーム担当者へ報告、チーム担当者は

陽性反応が確認された場合、p.13記載の報告用フォームより報告すること。

P11

濃厚接触者について

陽性と判定された方が発病した2日前以降に濃厚接触した方は保健所によって濃厚接触者に指定される。

濃厚接触者とは、患者（陽性と判定した方）の感染可能期間に接触した方のうち、次の範囲に該当する方となる。

ただし、保健所による調査・判断が行われない場合があることを留意する。

P13

1.4 症状がある場合の対応

(2) 疑い症状がある場合の相談

厚生労働省が発表している、以下いずれかの目安に該当する人は、チームドクター、帰国者・接触者相談センター、医療機関にあらかじめ電話で相談すること。

又は抗原定性検査を実施し陽性反応となった場合、行政が設置し医師を配置する健康フォローアップセンター等に連絡しその指示に従うとともに、Tリーグへ報告を行う事

(平熱には個人差があるため平熱が36℃より低い人は、平熱プラス1.5度を基準とする)

・寮生活の場合、寮内で隔離することとし、選手はチーム担当者へ報告、チーム担当者は

陽性反応が確認された場合、p.13記載の報告用フォームより報告すること。

P11

濃厚接触者について

陽性と判定された方が発病した2日前以降に濃厚接触した方は保健所によって濃厚接触者に指定される。

濃厚接触者とは、患者（陽性と判定した方）の感染可能期間に接触した方のうち、次の範囲に該当する方となる。

なお、事業所、チーム内においては、濃厚接触者の特定及び行動制限は不要。ただし、保健所による調査・判断が行われた場合は、保健所の判断に従う。

P13

1.4 症状がある場合の対応

(2) 疑い症状がある場合の相談

厚生労働省が発表している、以下いずれかの目安に該当する人は、政府の方針に従い対処すること。(修正)

Tリーグ新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン 訂正・変更箇所のみ抜粋

P15

1.7 感染者および濃厚接触者が出た場合のレギュレーション

(2) 感染者が出た場合の対応

選手およびチームスタッフが感染した場合、感染者完治まで濃厚接触者は活動を禁止とし、1チーム4名を揃えられない場合、その試合は1.7(1)に準ずる。4名以上の体制においては公式試合を予定通り実施とする。

P17

濃厚接触者の復帰タイミング

«基本»

- ・最終曝露日から7日間
- ・最終曝露日から4日目及び5日目の検査陰性を確認後5日目から隔離解除可

・特定された濃厚接触者の待機期間は、**当該感染者の発症日**

(当該感染者が無症状(無症状病原体保有者)の場合は検体採取日)

又は当該感染者の発症等により住居内で感染対策を講じた日のいずれか遅い方を0日目として、7日間(8日目解除)とするが、4日目及び5日目の抗原定性検査キットを用いた検査で陰性を確認した場合は、社会機能維持者であるか否かに関わらず、5日目から解除を可能とする。

また、この場合における解除の判断を個別に保健所に確認することは要しない。

・上記いずれの場合であっても、7日間が経過するまでは、検温など自身による健康状態の確認や、高齢者や基礎疾患を有する者等感染した場合に重症化リスクの高い方(以下「ハイリスク者」という。)との接触やハイリスク者が多く入所・入院する高齢者・障害児者施設や医療機関(以下「ハイリスク施設」という。)への不要不急の訪問(※3)、感染リスクの高い場所の利用や会食等避け、マスクを着用すること等の感染対策を求めることとする。

*検査キットについては厚生労働省：新型コロナウイルス感染症の体外診断用医薬品(検査キット)の承認情報

P15

1.7 感染者および濃厚接触者が出た場合のレギュレーション

(2) 感染者が出た場合の対応

選手およびチームスタッフに陽性者または濃厚接触者が発生した場合、その療養期間のため、1チーム4名を揃えられない場合、その試合は1.7(1)に準ずる。4名以上の体制においては公式試合を予定通り実施とする。(修正)

P17

濃厚接触者の復帰タイミング

«基本»

- ・特定された濃厚接触者の待機期間は、当該感染者の発症日(当該感染者が無症状(無症状病原体保有者)の場合は検体採取日)又は当該感染者の発症等により住居内で感染対策を講じた日のいずれか遅い方を0日目として、5日間(6日目解除)
- ・2日目及び3日目の抗原定性検査キットを用いた検査で陰性を確認した場合は、3日目から解除を可能とする。また、この場合における解除の判断を個別に保健所に確認することは要しない。最終曝露日から7日間

厚生労働省事務連絡内容抜粋 <https://www.mhlw.go.jp/content/000968056.pdf>

Tリーグ新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン 訂正・変更箇所のみ抜粋

<p>https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_11331.htmlに掲載されている検査キットに限る。</p> <p>P24</p> <p>3.3 チームでの食事について</p> <p>座席間隔を空け、正面の配席を回避する。また、食事は一人ずつ取り分けた状態で用意し、食事中の会話を控えるようにしてください。</p> <p>3.4 ホテルでの注意事項</p> <ul style="list-style-type: none">・ホテルのサウナ、フィットネスルーム、バー等の利用は控えましょう。・原則1人1部屋とし、部屋間の往来は禁止とします。	<p>P24</p> <p>3.3 チームでの食事について</p> <p>換気等基本的な感染対策を実施した上で、座席間隔を空け、正面の配席を回避する。<u>間隔を確保することが難しい場合は、パーティションの設置により代替することを可能とする。</u>（修正）</p> <p>3.4 ホテルでの注意事項</p> <ul style="list-style-type: none">・ホテルのサウナ、フィットネスルーム、バー等は、<u>混雑状況を踏まえて、密にならない環境下で使用するよう心がけましょう。</u>（修正） <p>（削除）</p>
<p>P31</p> <p>4.5 試合に関して</p> <p>(2) 試合実施</p> <p>ウ. 試合に関して</p> <ul style="list-style-type: none">・ダブルspartner同士の握手・ハイタッチ等の接触を自粛する。・ダブルspartner同士の対面での会話を自粛する。・ラケット確認は、審判が確認後、主審・副審とで選手を分けて、選手へ見せる。	<p>P31</p> <p>4.5 試合に関して</p> <p>(2) 試合実施</p> <p>ウ. 試合に関して</p> <ul style="list-style-type: none">・ダブルspartner同士の握手・ハイタッチ等の接触を自粛する。・ダブルspartner同士の対面での会話を<u>可能な限り避ける。</u>・ラケット確認は、審判が確認後、主審・副審とで選手を分けて、選手へ見せる。・コイントスは、審判が着席し、選手が両サイドにいる状態で行う。 <p>（削除）</p> <ul style="list-style-type: none">・選手入替の際には、身体的距離（最低限選手同士が触れ合わ

Tリーグ新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン 訂正・変更箇所のみ抜粋

- ・コイントスは、審判が着席し、選手が両サイドにいる状態で行う。
- ・チェンジエンドは時計回りとし、選手の交錯を避ける。
- ・選手入替の際には、身体的距離（最低限選手同士が触れ合わない程度の距離）を確保して移動する。
- ・マルチボールのボールパーソンはマスクを正しく着用し、手袋を着用する。ボールの回収は、ボール回収網を利用し、マッチ間に消毒を行う。ボールは30球用意する。

P42

イ. 第1段階 : 固定席 (ブロック指定) のみ

- ・感染予防を最優先とし、観客席はブロック指定による固定席 (通常は2階席以上) のみとし、選手と観客の間隔を十分に確保する。席数は開催時の収容率の規程に従う。
- ・ロールバック (会場の稼働可能席) は使用せず、仮設客席 (主にフロアレベルの仮設客席) は設けない。
- ・固定席における配席は、前後左右ともに1席間隔の市松で座席を設置する。なお、同一の観客グループ間では座席を空けず、グループ間は1席分の間隔を空けて座席を設置することも可とする。
- ・使用しない座席・エリアに規制テープなどを貼って、分かりやすくする。
- ・メインカメラおよび中継席、その他中継関連設備と観客席は、テープ等で明確にゾーン分けし、十分な距離が取れるようにする。

- ない程度の距離) を確保して移動する。
- ・マルチボールのボールパーソンはマスクを正しく着用する。ボールの回収は、可能な限りボール回収網を利用し、マッチ間に消毒を行う。ボールは30球用意する。(修正)

P42

イ. 第1段階 : 固定席 (ブロック指定) のみ

- ・感染予防を最優先とし、観客席はブロック指定による固定席 (通常は2階席以上) のみとし、選手と観客の間隔を十分に確保する。席数は開催時の収容率の規程に従う。
- ・ロールバック (会場の稼働可能席) は使用せず、仮設客席 (主にフロアレベルの仮設客席) は設けない。

(削除)

(削除)

- ・メインカメラおよび中継席、その他中継関連設備と観客席は、テープ等で明確にゾーン分けし、十分な距離が取れるようにする。

(削除)

Tリーグ新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン 訂正・変更箇所のみ抜粋

- ・入場者から陽性者が出た場合に連絡が可能となるよう、固定席（2階席）を全席指定席とする。

ウ. 第2段階 : 仮設席の設置（主にフロアレベルの仮設客席）

- ・第2段階への移行は、両チーム合意の上で、主催チームが自治体及び使用施設に相談の上、行うものとする。ただし、主催チームはリーグの了承を経て進めること。
- ・チームベンチの後方には、観客席を設置しない。
- ・チームベンチと通路間は最低2メートル以上確保できるようプラスチック柵等で区画を行い、来場者が直接選手・スタッフと接触しないようにする。
- ・選手およびチームスタッフ用の通路動線は、観客が近接しないよう、動線の中心線から3m以上の間隔を確保できるよう区画を行うか、人的な配置により近接を回避する。
- ・ロールバック席がチームベンチから3m以内の空間内に設置される場合、3m以上の間隔を確保できる列まで使用（座席販売）を禁止する。

オ. 会場物販

- ・販売所は、密を回避し、感染予防対策（マスクの正しい着用は義務。フェイスシールド、スタッフと観客間のアクリル板等の設置、および現金・クレジットカード受け渡しト

ウ. 第2段階 : 仮設席の設置（主にフロアレベルの仮設客席）

- ・第2段階への移行は、両チーム合意の上で、主催チームが自治体及び使用施設に相談の上、行うものとする。ただし、主催チームはリーグの了承を経て進めること。

（削除）

- ・チームベンチと通路間は最低2メートル以上確保できるようプラスチック柵等で区画を行い、来場者が直接選手・スタッフと接触しないようにする。
- ・選手およびチームスタッフ用の通路動線は、観客が近接しないよう、動線の中心線から2m以上の間隔を確保できるよう区画を行うか、人的な配置により近接を回避する。
- ・ロールバック席がチームベンチから2m以内の空間内に設置される場合、2m以上の間隔を確保できる列まで使用（座席販売）を禁止する。

オ. 会場物販

- ・販売所は、密を回避し、感染予防対策（マスクの正しい着用は義務。フェイスシールド、スタッフと観客間のアクリル板等の設置）をした上で設置可能とする。（修正）

Tリーグ新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン 訂正・変更箇所のみ抜粋

レイ使用に関してはチーム判断)をした上で設置可能とする。

- ・売店に入る人数を制限する（5名以下）。
- ・待機場所をマーキングしてソーシャルディスタンスを保持させるために、列誘導・注意喚起のスタッフを配置する。

カ. 飲食

- ・飲料の販売は可とする。ただし、ペットボトル等既製品のみとし、紙コップ等容器での販売は不可とする。
- ・食物については、アリーナ外において、通気性が確保され、各席の間にアクリル板等による仕切りを設置するなど、密な状況での食事を回避できる環境が整っており、感染防止策を行ったエリアにおいてのみ飲食できるようにした場合に限り、リーグの許可を得て販売することを可とする。アリーナ内での食事は不可とする。
- ・販売所の設置については、上記「オ. 会場物販」に準ずる。
- ・食事中以外は必ずマスクを正しく着用し、顔の正面からできる限り2mを目安に最低1m距離を確保することを含め真正面の配置をさける。
- ・テーブル上に区切りのパーテーション(アクリル板等)を設置する。

- ・売店に入る人数を制限する（5名以下）。
- ・待機場所をマーキングしてソーシャルディスタンスを保持させるために、列誘導・注意喚起のスタッフを配置する。

カ. 飲食

- ・飲食物の販売は可とする。ただし、施設側のルールに従うこと。（修正）

(削除)

- ・販売所の設置については、上記「オ. 会場物販」に準ずる。

- ・食事中以外は必ずマスクを正しく着用すること。（修正）

(削除)

(2) 必須運営事項

Tリーグ新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン 訂正・変更箇所のみ抜粋

(2) 必須運営事項

ア. 選手・チームスタッフ含む来場者全員へのお願い

① 下記のような場合は来場を見合わせる

- ・体調が良くない場合（例：発熱、咳、喉の痛み、だるさ、味覚嗅覚の異常など）
- ・本人とその家族・同居者が直近7日間にコロナ感染症の疑い症状があった場合
- ・同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
- ・過去 7日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

P47

(7) 退場（一般客）

席種（エリア）ごとに時差退場を実施する。

P48

ウ. 試合に関して

- ・ダブルスパートナー同士の握手・ハイタッチ等の接触を自

ア. 選手・チームスタッフ含む来場者全員へのお願い

① 下記のような場合は来場を見合わせる。なお、海外渡航歴を有する従事者及び選手の対応については、日本入国時の検疫措置（厚生労働省HP「水際対策」など参照）に沿って判断する（追加）

- ・体調が良くない場合（例：発熱、咳、喉の痛み、だるさ、味覚嗅覚の異常など）
- ・濃厚接触者となった場合（修正）

・同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
(削除)

P47

(7) 退場（一般客）

席種（エリア）ごとに時差退場を実施する等、退場者が密にならないような整理を行うこと。（追加）

P48

ウ. 試合に関して

- ・ダブルスパートナー同士の握手・ハイタッチ等の接触を自粛する。

Tリーグ新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン 訂正・変更箇所のみ抜粋

粛する。

- ・ダブルspartner同士の対面での会話を自粛する。
- ・ラケット確認は、審判が確認後、主審・副審とで選手を分けて、選手へ見せる。
- ・コイントスは、審判が着席し、選手が両サイドにいる状態で行う。
- ・チェンジエンドは時計回りとし、選手の交錯を避ける。
- ・選手入替の際には、身体的距離を確保して移動する。
- ・マルチボールのボールパーソンはマスクを正しく着用し手袋を着用する。ボールの回収はボール回収網を利用し、マッチ間に消毒を行う。ボールは30球用意する。
- ・試合後、選手、チームスタッフ、審判は各自でロッカールーム、控室に戻る。その際、引き上げ動線が混雑しないように事前に確認する。また、動線が狭い場合は時間差で引き上げるなどの方法を予め決めておく。

P51

5.6 映像制作

(1) 映像制作スタッフについて

- ・Tリーグ公式映像およびすべてのライツホルダースタッフは、直近2週間の健康管理・行動履歴等に関する体温記録表を記入し事前に提出すること。スタッフは常にマスクの正しい着用を行うこと。

- ・ダブルspartner同士の対面での会話を可能な限り避ける。(修正)
- ・ラケット確認は、審判が確認後、主審・副審とで選手を分けて、選手へ見せる。
- ・コイントスは、審判、選手が、身体的距離（人と人とが触れ合わない距離）を確保した状態で行う。(修正)

(削除)

- ・選手入替の際には、身体的距離を確保して移動する。
- ・マルチボールのボールパーソンはマスクを正しく着用する。ボールの回収はボール回収網を利用し、試合開始前に消毒を行う。ボールは30球用意する。(修正)
- ・試合後、選手、チームスタッフ、審判は各自でロッカールーム、控室に戻る。その際、引き上げ動線が混雑しないように事前に確認する。また、動線が狭い場合は時間差で引き上げるなどの方法を予め決めておく。

5.6 映像制作

(1) 映像制作スタッフについて

- ・Tリーグ公式映像およびすべてのライツホルダースタッフは、直近10日間の健康管理・行動履歴等に関する体温記録表を記入し事前に提出すること。スタッフは常にマスクの正しい着用を行うこと。(修正)

Tリーグ新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン 訂正・変更箇所のみ抜粋

P51

5.7 会場内エンターテインメント

(1) 基本ルール

原則として、チア・マスコット以外のアクターは来場禁止とする。また、チームは、アクターもチームスタッフとみなし、アクター本人の家族・同居者が、直近14日間に新型コロナウイルス感染症の疑い症状（発熱、咳、息苦しさ(呼吸困難)、喉の痛み、だるさ、味覚嗅覚の異常）がないことを確認すること。また万が一に備え、2週間の体調管理および行動記録を提出できるよう準備しておくこと。

(2) マスコットについて

- ・感染拡大防止の観点から、無観客試合時期におけるアクターを固定する。やむを得ずアクターが複数になる場合は、使用後の衣装内側の消毒をより徹底して実施する。
- ・マスコットの控室は個室とし、衣装の着脱は控室の中でのみ可とする。
- ・使用前後に衣装の内側、外側の消毒を行うこと。
- ・選手やコーチングスタッフ等他のスタッフとの距離を2m以上保つ。
- ・選手やコーチングスタッフ等の、マスコットとのフィジカルコンタクトは禁止。

P49

5.7 会場内エンターテインメント

(1) 基本ルール

チームは、アクターもチームスタッフとみなし、アクター本人の家族・同居者が、直近14日間に新型コロナウイルス感染症の疑い症状（発熱、咳、息苦しさ(呼吸困難)、喉の痛み、だるさ、味覚嗅覚の異常）がないことを確認すること。また万が一に備え、10日間の体調管理および行動記録を提出できるよう準備しておくこと。（修正）

(2) マスコットについて

(削除)

- ・マスコットの控室は個室とし、衣装の着脱は控室の中でのみ可とする。
- ・使用前後に衣装の内側、外側の消毒を行うこと。
- ・選手やコーチングスタッフ等他のスタッフとの距離は、人と人が触れ合わない間隔を保つ。（修正）
- ・選手やコーチングスタッフ等の、マスコットとのフィジカルコンタクトは禁止。

(3) チアについて

Tリーグ新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン 訂正・変更箇所のみ抜粋

(3) チアについて

- ・感染拡大防止の観点から、無観客試合時期におけるチアを固定し、最小人数とする。
- ・控室は広さに合わせ人数制限を行うこと。
- ・選手やコーチングスタッフ等他のスタッフとの距離を2m以上保つ。
- ・選手やコーチングスタッフ等とのフィジカルコンタクトは禁止。

(4) 試合終了後演出について

- ・選手、チームスタッフは試合終了後に握手などのフィジカルコンタクトは行わない。
- ・チームとしてコートに集まって、自宅等で観戦しているファンに挨拶する等を行う場合、身体的距離を確保すること。

5.8 応援

手拍子、拍手、打楽器（大音量を生じるものは避ける）を使用するの応援を推奨することとし、下記の行為に関しては感染防止対策の観点から禁止とする。禁止行為を行う者がいた場合には、個別に注意等を行う。

(1) 飛沫感染防止

- ① 大きな声を出しての応援、指笛
(大きな声とは、通常よりも大きな声量で、反復・継続的

(削除)

(削除)

- ・控室は広さに合わせ人数制限を行うこと。
- ・選手やコーチングスタッフ等他のスタッフとの距離は、人と人が触れ合わない間隔を保つ。（修正）
- ・選手やコーチングスタッフ等とのフィジカルコンタクトは禁止。

(4) 試合終了後演出について

- ・選手、チームスタッフは試合終了後に握手などのフィジカルコンタクトは極力避ける。
- ・チームとしてコートに集まって、自宅等で観戦しているファンに挨拶する等を行う場合、人と人が触れ合わない程度の身体的距離を確保すること。（修正）

5.8 応援

手拍子、拍手、打楽器（大音量を生じるものは避ける）を使用するの応援を推奨することとし、下記の行為に関しては感染防止対策の観点から禁止とする。禁止行為を行う者がいた場合には、個別に注意等を行う。

(1) 飛沫感染防止

- ① 大きな声を出しての応援、指笛
(大きな声とは、通常よりも大きな声量で、反復・継続的

Tリーグ新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン 訂正・変更箇所のみ抜粋

に声を発すること)

- ② 周囲の来場者へ向けて上記のような行動を煽る行為
- ③ 飛沫感染を防ぐため、手持ちのアイテムを"振る"もしくは"回す"行為（タオルマフラー、フラッグなど）
- ④ 風船やジェット風船の使用。なお、バルーンスティックは、打楽器的に使用することは妨げないが、会場内で空気を抜く行為は禁止する。

P57

6.1 有観客通常開催試合の実施概要

(5) 入場制限

ア. 選手、チームスタッフ

・ベンチに入る全ての選手、監督、コーチ、チームスタッフはPCR検査若しくは抗原定性検査を受けること。そしてチーム担当者は、その結果をリーグ担当者にメールにて報告すること。

P62

(5) 一般来場者、チーム関連来場者、リーグ関連来場者、会場物販【ゾーン2】

ア. 座席の配置、および収容率の管理権限

・国や対策本部、スポーツ庁の提示は「目安」である。収容

に声を発すること)

- ② 周囲の来場者へ向けて上記のような行動を煽る行為
- ③ 風船やジェット風船の使用。なお、バルーンスティックは、打楽器的に使用することは妨げないが、会場内で空気を抜く行為は禁止する。（修正）

(削除)

P54

6.1 有観客通常開催試合の実施概要

(5) 入場制限

ア. 選手、チームスタッフ

・ベンチに入る全ての選手、監督、コーチ、チームスタッフは、Tリーグが定めるところに従い、PCR検査若しくは抗原定性検査を受けること。そしてチーム担当者は、その結果をリーグ担当者にメールにて報告すること。（追加）

P58

(5) 一般来場者、チーム関連来場者、リーグ関連来場者、会場物販【ゾーン2】

ア. 座席の配置、および収容率の管理権限

・国や対策本部、スポーツ庁の提示は「目安」である。収

Tリーグ新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン 訂正・変更箇所のみ抜粋

率の管理権限主体は、最終的に地元自治体となるため、主催チームは、各自治体へ試合実施および配席についての了解を事前に得ること。

(2) 必須運営事項**ア. 選手・チームスタッフ含む来場者全員へのお願い**

① 下記のような場合は来場を見合わせる

- ・体調が良くない場合（例：発熱、咳、喉の痛み、だるさ、味覚嗅覚の異常など）
- ・本人とその家族・同居者が直近7日間にコロナ感染症の疑い症状があった場合
- ・同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
- ・過去7日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

P65

(3) チケットに関して**ア. 事前準備**

- ・各施設によって定められた入場上限数に応じて、チケット

容率の管理権限主体は、最終的に地元自治体となるため、主催チームは、各自治体へ試合実施および配席についての了解を事前に得ること。

- ・声出し応援席を設置する場合は、Tリーグが別途定める指示に従う。（追加）

P59

(2) 必須運営事項**ア. 選手・チームスタッフ含む来場者全員へのお願い**

① 下記のような場合は来場を見合わせる

- ・体調が良くない場合（例：発熱、咳、喉の痛み、だるさ、味覚嗅覚の異常など）
- ・濃厚接触者となった場合（修正）
- ・同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
- ・過去7日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

P61

(3) チケットに関して**ア. 事前準備**

- ・各施設によって定められた入場上限数に応じて、チケット

Tリーグ新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン 訂正・変更箇所のみ抜粋

<p>販売数を準備する。</p> <ul style="list-style-type: none">・来場者の情報を把握する為、原則オンライン販売（ローンチケット）のみとする。・チケット販売時には、コロナ禍における注意事項を規約に明記し、これに同意した者のみが購入へと進む手順をとる。各クラブ公式サイト等でも適宜公表する。※試合前・当日の入場できない事情（感染を含む）があっても、原則返金は不可。 <p>イ. 当日</p> <ul style="list-style-type: none">・当日券販売を実施する場合、販売の際に名前・連絡先の情報を得ること。・当日券販売所は、感染対策をした上で設置可とする（マスクの正しい着用は義務。フェイスシールドや観客との間のアクリル板等の設置については、クラブ判断）。 <p>(6) 入場口でのチェック（一般客）</p> <ul style="list-style-type: none">・一般来場者（観客）には、非接触検温器での検温を実施する。・入場時の検温で37.5度以上の発熱の場合、また37.5度未満であっても症状がある場合や平熱よりも高いことが明らかかな場合、入場不可とする（原則払い戻しは無し）。・当日券購入の一般来場者（観客）は、チケット半券に名	<p>販売数を準備する。</p> <p>(削除)</p> <ul style="list-style-type: none">・チケット販売時には、コロナ禍における注意事項を規約に明記し、これに同意した者のみが購入へと進む手順をとる。各クラブ公式サイト等でも適宜公表する。※試合前・当日の入場できない事情（感染を含む）があっても、原則返金は不可。 <p>イ. 当日</p> <p>(削除)</p> <ul style="list-style-type: none">・当日券販売所は、感染対策をした上で設置可とする（マスクの正しい着用は義務。フェイスシールドや観客との間のアクリル板等の設置については、クラブ判断）。 <p>P62</p> <p>(6) 入場口でのチェック（一般客）</p> <ul style="list-style-type: none">・一般来場者（観客）には、非接触検温器での検温を実施する。・入場時の検温で37.5度以上の発熱の場合、また37.5度未満であっても症状がある場合や平熱よりも高いことが明らかかな場合、入場不可とする（原則払い戻しは無し）。 <p>(削除)</p>
---	---

Tリーグ新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン 訂正・変更箇所のみ抜粋

<p>前・電話番号を記入（※）してもらい、感染等の対応が行えるようにする。（※：記入欄を設ける）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手荷物検査は、お客様に荷物を開けてもらい、お客様の荷物には触らない。 ・チケットはスタッフが券面の確認を行い、お客さまにもぎってもらう。 ・飲料の移し替えは、手指消毒後お客様自身で行う。 ・配布物に関しては、スタッフが手袋を着用して配布を行う。 ・配布物は、スタッフのみが触れ、飛沫が付着しないように管理を行う。 	<p>(削除)</p> <p>(削除)</p> <p>(削除)</p> <p>(削除)</p> <p>(削除)</p>
<p>P67</p> <p>ウ. 試合に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ダブルspartner同士の握手・ハイタッチ等の接触を自粛する。 ・ダブルspartner同士の対面での会話を自粛する。 ・ラケット確認は、審判が確認後、主審・副審とで選手を分けて、選手へ見せる。 ・コイントスは、主審席前で選手が両サイドにいる状態で行う。 ・チェンジエンドは時計回りとし、選手の交錯を避ける。 	<p>P63</p> <p>ウ. 試合に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ダブルspartner同士の握手・ハイタッチ等の接触を自粛する。 ・ダブルspartner同士の対面での会話を<u>可能な限り避ける</u>。（修正） ・ラケット確認は、審判が確認後、主審・副審とで選手を分けて、選手へ見せる。 ・コイントスは、主審席前で選手が両サイドにいる状態で行う。 <p>(削除)</p>

Tリーグ新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン 訂正・変更箇所のみ抜粋

- ・選手入替の際には、身体的距離を確保して移動する。
- ・マルチボールのボールパーソンはマスクを正しく着用し手袋を着用する。ボールの回収はボール回収網を利用する。
- ・試合後、選手、チームスタッフ、審判は各自でロッカールーム、控室に戻る。その際、引き上げ動線が混雑しないように事前に確認する。また、動線が狭い場合は時間差で引き上げるなどの方法を予め決めておく。

工. その他注意事項

- ・身体的距離確保のため、ベンチ入りメンバー数を限定する可能性がある。
- ・スタッフは、スタッフ席にて試合観戦を行う。
- ・監督・選手・コーチ・通訳・スタッフは、常にマスクを正しく着用する。
- ・ゲーム間、タイムアウトのアドバイス時にも、プレイヤー以外はマスク正しく着用。また、アドバイスは対面を自粛すること。

- ・選手入替の際には、身体的距離を確保して移動する。
- ・マルチボールのボールパーソンはマスクを正しく着用し手袋を着用する。（削除）
- ・試合後、選手、チームスタッフ、審判は各自でロッカールーム、控室に戻る。その際、引き上げ動線が混雑しないように事前に確認する。また、動線が狭い場合は時間差で引き上げるなどの方法を予め決めておく。

工. その他注意事項

- ・身体的距離確保のため、ベンチ入りメンバー数を限定する可能性がある。
- ・スタッフは、スタッフ席にて試合観戦を行う。
- ・監督・選手・コーチ・通訳・スタッフは、常にマスクを正しく着用する。
- ・ゲーム間、タイムアウトのアドバイス時にも、プレイヤー以外はマスク正しく着用。また、アドバイスは対面を可能な限り避けること。（修正）
- ・試合終了後のファンサービスは、選手・監督・コーチと観客および観客同士が身体的距離（人と人とが触れ合わない距離）を確保できるよう、チームスタッフにより整理された状況下において実施可能とする。感染拡大防止の観点から、選手等が、一人の観客に対応する時間は極力短時間とすること。（追加）

Tリーグ新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン 訂正・変更箇所のみ抜粋

P71

(4) 記者会見

基本、記者会見（リモート取材）とし、ミックスゾーンでの取材を実施する場合は、メディア、選手間の距離を2m 以上保った上での実施とする。

以上

P67

(4) 記者会見

記者会見（リモート取材）を推奨するが、ミックスゾーンでの取材を実施する場合は、メディアと選手が触れ合わない程度の距離を保った上での実施とする。（修正）

以上

Tリーグ新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン 訂正・変更箇所のみ抜粋